

令和 8 年度 事業計画

事業概要

【期 間】

令和 8 年 4 月 1 日から令和 9 年 3 月 3 1 日

【概 要】

当財団は公益法人として、公益法人制度の趣旨に鑑み、公益性の高い法人運営を行い、新潟における海洋・河川文化の普及啓発の充実を図っていく。

普及啓発事業においては、観察会など野外における体験学習を実施するほか、学校等の団体を対象とした校外学習、教育機関への講師派遣など教育施設との連携を継続する。また、他の博物館との連携事業として、麻布大学いのちの博物館とその解説サークル「ミュゼット」と共催し骨格標本の展示を行う。

調査研究・保護継承事業においては、野生水族に関する生息調査等を行い、地域の自然史に関する知見の蓄積により一層努める。

水生生物の展示及び飼育事業（水族館事業）においては、中心的な企画展示として、生物の形態や特徴を確認し、その種を特定する作業「同定」に焦点を当て、「生き物を見分ける—観察・比較・発見の体験—」を開催する。また、11月30日から12月2日に本市で「世界湿地都市ネットワーク市長会議」が開催されることから、ラムサール条約湿地都市連携事業を継続する。さらに、民間とのコラボで障がいのあるこどもとご家族等を閉館後の水族館へ招待するイベント「ドリームナイト・アット・ジ・アクアリウム」や感覚過敏な人に配慮したイベント「サイレントウィーク ちょっと静かな水族館」を引き続き実施する。

物価高騰が依然として続き、厳しい施設の管理運営を迫られている中ではあるが、新潟市水族館の指定管理者として来館者の安心・安全を第一に、これまでに積み上げてきた知識・技術・経験、また全国的なネットワークを十分に活かし、適正な施設の管理運営を行っていくとともに、新潟市水族館の設置目的と「新潟で一番愛される施設」という当財団の新潟市水族館ビジョンを達成するため、一層の来館者の増加と満足度向上に努める。

また、新潟市が方針決定した新潟市水族館の博物館登録に向け、指定管理者として登録博物館にふさわしい体制の整備を図る。さらに、改正認定法の経過措置期間終了（令和 10 年 3 月）に向けた準備を進める。

【事 業 名】

公益目的事業

- 1 海洋・河川文化の普及啓発、調査研究及び保護継承事業
- 2 海洋・河川に生息する水生生物とその生息環境の展示及び飼育事業

収益事業

- 1 施設管理に付帯する事業

公益目的事業

1 海洋・河川文化の普及啓発、調査研究及び保護継承事業

【事業目的】

新潟における海洋・河川文化の現状や変遷を調査研究及び情報発信することにより、海洋・河川文化及び海洋・河川等と人との関わりの大切さを後世に継承し、併せて地域社会の持続的発展の担い手を育む。

【主な事業内容】

(1) 海洋・河川文化の普及啓発

区 分	名 称	プログラム等	内 容
体験学習	野外観察会	貝の標本づくり	地先海岸で貝を採集し、採集した貝を用いて種の同定方法と標本作製の手順を学び実践する。
		【新規】 夜のスナガニ 観察会	夜の砂浜でスナガニの採集を行い、体のつくりや日中では見られない夜間の行動を観察する。
		ラムサール条約 湿地都市連携事業 潟のいきもの 観察会	潟と周辺の水路で水生生物を採集・観察する。生物だけでなく、潟の環境や生態系などについても観察する。
	SDGs 関連	海岸清掃	清掃活動を通して、生物の生息する環境や環境に影響する海ゴミの問題について多くの方に考えてもらう機会とする（年4回）。
講演会	マリンピアカレッジ	グラス アクアリウム 自分だけの小さな 地球を作ろう	グラスアクアリウムの維持管理や生態系の仕組みを学んでもらいながら、講師から体験談を交えて講演をしていただく。 【講師：有限会社エイチツー代表 早坂誠氏】
		さわって学ぼう！ 骨からわかる動物 の秘密 ～陸と海の生きもの の編～	麻布大学いのちの博物館とその解説サークル「ミュゼット」と連携し、学生が作製した骨格標本と当館の標本を用い、触れる体験やワークショップを通じて生き物の構造を学んでもらう。 【講師：麻布大学 教授 島津徳人氏及び「ミュゼット」の学生】
		ペンギンの話	フンボルトペンギンについて、生態や生息地などの講演をしていただく。その他、ペンギンすごろくを体験しペンギンについて学んでもらう。 【講師：前目黒高等学校 教諭・ペンギン会議研究員 上田一生氏】

講演会	特別講演会	研究者が語る 野生鯨類調査	野生の鯨類調査を長年実施している専門機関から、現状の鯨類の個体数や分布について、モニタリング調査結果の講演をしていただく。 【講師：国立研究開発法人水産研究・教育機構 水産資源研究所職員】
		イカの話	人間や魚と大きく異なるイカの体の作りや捕食行動について、工作キットを使いながら学ぶとともに、イカ類の知られざる繁殖戦略を講演していただく。 【講師：東京大学大気海洋研究所 准教授 岩田容子】
		水族館職員が語る 水族館での 魚の研究	新潟市水族館職員が行っている水生生物に関する研究を、目的や内容、また研究が何の役に立つのかなどについて紹介する。 【講師：新潟市水族館職員】
各種団体 との連携	学校教育連携	総合学習の受入	水生生物や環境問題などについての質疑応答やキャリア教育など、学校のニーズに合わせて館内を見学してもらい、写真や資料を用いて講義する。
		実習生の受入	専門学校生、大学生を対象に飼育実習、獣医実習、博物館実習を行い、飼育技術や展示技術、教育方法などの現場実習を行う。
		教育機関への 講師派遣	アウトリーチ事業の一環として、市内の教育機関へ職員を派遣し生物や仕事についての講義・指導を行うほか、野外活動での観察などの指導を行う。
		地元大学との連携	隣接する学校法人新潟青陵学園と連携を深め、双方の発展的な教育と研究の推進に向けて互いに協力し、地域の発展と人材の育成に寄与する。
	外部機関連携	小児病棟への ライブ配信	新潟県立がんセンターの小児病棟に入院中の病児へ、日本海大水槽やペンギン、イルカショーなどのライブ配信を行う。
		行政機関との 連携イベント	省庁、自治体などと連携し、パネル展示やワークショップなどで水生生物や海洋河川および地域振興に関する情報を発信する。
	出張展示関連	他団体主催 イベントなど	館外へ出向いて、水生生物の生体展示、ワークショップなどを行い、水生生物や環境問題を楽しく学んでもらう。

※例年実施している田んぼ体験については、寄生虫の発生が確認されたことを受け、安全面への影響を考慮し、当面の間、中止することとした。再開時期については、環境改善および安全確認後に改めて検討する予定である。

(2) 海洋・河川文化の調査研究

区分	名称	内容
研究発表	J A Z A (日本動物園水族館協会) 関連	水族館技術者研究会、海獣技術者研究会など
	J A A (日本水族館協会)	トレーニングセミナー、水族館研究会など
	その他研究会・学会	日本動物園水族館教育研究会、日本野生動物医学会、さけます等栽培対象資源対策事業など
各種会議	J A Z A 関連	通常総会、ブロック会議、生物多様性委員会、種保存会議、設備会議、事務主任者会議など
	J A A 関連	通常総会、寄鯨会議など
	その他会議	新潟県博物館協議会、大都市動物園水族館事務主管者会議、新潟市里潟研究ネットワーク会議など
研究	水産庁委託	アカムツの天然魚の採集と養成技術の開発
共同研究	新潟大学	イルカから水中で無侵襲的に脳波を記録する方法を確立するための研究
	岩手大学	ペンギン類の鳥マラリア感染に関する研究
	日本大学・長崎大学・東京大学総合研究博物館	遺伝的差異が証明された日本沿岸カマイルカ 2 集団の形態学的、遺伝学的研究
	日本大学	鰭脚類のマイコプラズマの研究
	東京都葛西臨海水族園ほか 12 園館	科学的根拠に基づいたペンギン類の動物福祉に配慮した適正な飼育施設基準の策定

(3) 海洋・河川文化の保護継承（生物種の保全を含む）

区分	名称	内容・回数
生息域内 保全	シナイモツゴ調査	県内の希少淡水魚の生息調査・2回
	ホトケドジョウ調査	県内の希少淡水魚の生息調査・1回
	コシノハゼ調査	県内の希少淡水魚の生息調査・5回
	キタノアカヒレタビラ調査	県内の希少淡水魚の生息調査・1回
	【新規】ニホンイトヨ調査	県内の希少淡水魚の生息調査・1回
	ハクバサンショウウオ調査	県内の両生類の生息調査・2回
	タダミハコネ サンショウウオ調査	県内の両生類の生息調査・1回
連携調査	深海生物調査	R O V (水中探査機) による佐渡海峡深海生物調査・1回 (ふくしま海洋科学館との共同)
	福島潟いきものしらべ 水生生物観察会	NPO ねっとわーく福島潟の自然観察会への講師派遣・1回

連携調査	親子魚探検 (五泉・新発田)	生物多様性保全ネットワーク新潟主催の自然観察会への講師派遣 ・2回
	関川地区調査	タランペクラブの自然観察会「水あぶり」への講師派遣及び地元小学校で開催される「川の生き物観察会」への講師派遣・各1回

2 海洋・河川に生息する水生生物とその生息環境の展示及び飼育事業（水族館の管理運営）

【事業目的】

新潟の自然環境とそこに生息する水生生物の展示を基礎としながら、多種多様な環境の生物を展示し、各種体験型プログラムを実施することで、市民が海洋・河川や水生生物などに親しむ機会の充実などを図り、海洋・河川に関心を持つきっかけとなる機会を創出する。

【主な事業内容】

(1) 水生生物に関する知識の普及振興

名称	プログラム	内容
企画展示	カマイルカレスキュー ～保護から放流までの 活動記録～	令和5年2月14日に座礁したカマイルカの保護から治療、リハビリ、放流までの映像や実際に使用した道具などを紹介する。また、鯨類等のストランディング（座礁、漂着）について、水族館の活動と共に解説する。
	生き物を見分ける一観察・比較・発見の体験一	種を確定させる作業（同定）の難しさ、面白さを伝えるとともに、実際に生物を見分けるコーナーを設けて同定の体験をしてもらう。
	水族館で働くスタッフ に注目	水族館で働く人がどのような仕事をしているかパネルやモニターを使って紹介する。また、日々使用している道具なども併せて紹介する。
パネル展示	魚の耳石展	耳石について知ってもらうため、耳石を利用した調査研究、耳石の取り方などをパネルでくわしく紹介する。
	「SADO～世界に誇る 自然と文化～」	昨年度、新潟市水族館で実施した企画展示「SADO～世界に誇る自然と文化～」を巡回展として新潟県立図書館で実施する。
	ラムサール条約湿地都市 連携事業 16の潟パネル展示	世界湿地都市ネットワーク市長会議 in 新潟の開催に合わせて新潟市内にある16の潟のパネル展示などを実施する。
いきもの教室	ちりめんじゃこの観察 ～成体と幼体の ふしぎな違い～	ちりめんと一緒に漁獲される生き物（ちりもん）の正体を調べて図鑑を作る。成体と幼体の形や生活様式の違い、多様さなどについて学んでもらう。
	魚の解剖	魚の外側のつくりと解剖したからだの内側のつくりや生体の観察を行う。

生きもの教室	エビの解剖	冷凍エビを用い、解剖しながら解説を行う。その他、スライドで甲殻類やエビ類の紹介、ワークシートを使ったスケッチなど生体観察を通して、エビ類の形態的特徴や体のつくりを学んでもらう。
障がい者向けイベント	ドリームナイト・アット・ジ・アクアリウム	障がいのあるこどもとその家族等を閉館後の水族館へ招待し、気兼ねなく楽しいひとときを過ごしてもらおう
	サイレントウィーク「ちょっと静かな水族館」	感覚過敏の人も楽しめるインクルーシブな取り組みとして、音に焦点を当て、BGM や解説など館内の人工的な音をできるだけ少なくし、いつもより静かな環境で、生き物が出す音や水の音などをじっくりと感じ取ってもらおう。
ガイドツアー	企画展示ガイドツアー	企画展示「生き物を見分けるー観察・比較・発見の体験ー」の会場でツアー形式の解説を8月～2月に毎月1回開催する。
	イルカバックヤードミニガイド	イルカ飼育設備のバックヤードやステージを、解説を聞きながら見学し、イルカの生態について学んでもらう。
参加型イベント	ラムサール条約湿地都市連携事業 にいがたフィールドガイド	にいがたフィールドを歩きながら、自然環境と希少生物の域外保全について学んでもらう。季節の変化を感じられるように4月～12月の間、毎月1回開催する。
	【新規】 ナイトアクアリウム	閉館後に夜の水族館を観覧してもらおう。観覧中、日本海大水槽の消灯やウミホタル発光実験、館内各所での解説やガイドツアーを実施する。
記念日イベント	ペンギンの日	世界ペンギンの日(4/25)に合わせ、通常の展示だけでは伝えきれないペンギンの生態や野生の現状について理解を深めてもらうイベントを行う。
	カワウソの日	世界カワウソの日(5月最終水曜日)に合わせ、カワウソ類の生態や、野生の生息状況などを解説パネルで展示するとともに、ユーラシアカワウソに餌を与えながら解説を行う。

(2) 水生生物の収集、飼育、展示

区分	名称	内容・回数
飼育展示	館内での飼育展示	600種20,000点を超える飼育規模を維持
常設解説	イルカショー	イルカの形態や生態、運動能力などをショー形式で解説する・4～5回/日
	マリンサファリ給餌解説	トドやアザラシに餌を与えながら、からだのつくりや生態について解説を行う・2回/日
	ペンギン解説	ペンギンのからだのつくりや生態、生息地の環境について解説を行う・2回/日
	日本海大水槽解説	大水槽の展示生物や海洋環境、水族館のしくみの解説を行う・1～2回/日

常設解説	磯のいきもの解説	磯の体験水槽で磯のいきものについて実際に触れてもらいながら解説を行う・1回/日
	アクアラボ体験プログラム	日替わりのテーマで、観察や実験、解説を行う・1回/日
生物採集	新潟乗船	アオリイカ・近海の生物乗船採集・3回
	能生乗船	ベニズワイ漁乗船採集（深海生物）・1回
	佐渡乗船	エビカゴ漁乗船採集（深海生物）・2回
	柏崎・出雲崎アマモ採集	アマモ場生物採集・12回
	間瀬乗船	シキシマハナダイ・アカムツなど乗船釣り採集・5回
	宮城県・岩手県	マイワシ輸送・2回
	新潟県内淡水生物採集	アブラハヤ・タナゴ類・水生植物など・5回
生物交換	ふくしま海洋科学館	熱帯魚、深海生物など・2回
	魚津水族館	熱帯魚、深海生物など・2回
	名古屋港水族館	熱帯魚、深海生物など・1回
	上越市立水族博物館	熱帯魚、深海生物など・1回
	鶴岡市立加茂水族館	熱帯魚、深海生物など・2回

収益事業

1 施設管理に付帯する事業

【事業目的】

施設利用者に対する利便性を図るため、レストラン及び売店、自動販売機等の設置を行う。

【主な事業内容】

区分	設置数・場所
レストラン	1ヶ所・本館2階
軽食売店	2ヶ所・屋外、屋上 ※季節営業
移動販売車	1ヶ所・アプローチ棟手前 ※季節営業
売店	1ヶ所・アプローチ棟
自動販売機	18ヶ所・館内、屋外各所
ロッカー	1ヶ所・アプローチ棟
記念メダル	2ヶ所・本館1階
プリントシール機	1ヶ所・水辺の小動物
カプセルトイ（コイの餌）	1ヶ所・屋外 ※季節営業

新潟市水族館の指定管理者としての実施項目と目標

1 普及啓発、調査研究及び保護

実施項目	達成目標
常設解説	毎日実施
企画展示	年間 250 日以上
ガイドツアー	3 企画以上、年間 20 日以上
各種調査等	公開・公表、研究機関との共有

2 生物の展示

実施項目	達成目標
魚類等の飼育展示	600 種 20,000 点を超える水生生物の飼育・展示

3 年間入館者数など

実施項目	達成目標
年間入館者数	54 万人以上
年間入館料収入	4 億 6,063 万 7 千円以上
年間パスポート購入者数	1 万 4 千人以上
年間パスポート所有者リピート数	年平均 7 回以上
ホームページと SNS の更新	合わせて週 7 回以上

4 人材育成

水族館を適切に運営するために J A Z A（日本動物園水族館協会）や J A A（日本水族館協会）などの会議・研究会へ参加するほか、社内研修を職種別、階層別、全共通に分けて計画的に実施する。また、職員の自発的な学びを進めるため、財団運営に必要な資格取得を推奨する。

